

# 衣浦港 3号地に計画している 廃棄物処分場について

平成17年9月

# 県内の処分場の状況

県内の廃棄物処分場の残余年数は、平成14年度末で一般廃棄物については10.4年、産業廃棄物については自社処分場を除くと5.7年となっています。

	H14年度埋立量	残存容量	残余年数
産業廃棄物	124万m <sup>3</sup>	705万m <sup>3</sup>	5.7年
一般廃棄物	30.4万m <sup>3</sup>	316万m <sup>3</sup>	10.4年

このように、最終処分場が将来に渡って非常にひっ迫した状況となっており、産業活動や県民の生活環境への重大な影響が懸念されています。

# 最終処分場の整備を求める要望

産業界、市町村からも早期に広域最終処分場を整備するよう要望がされています。

要望書年月日	要望書提出者
平成16年 9月28日	名古屋商工会議所と(社)中部経済連合会の連名
平成16年10月 5日	愛知県町村会
平成16年10月26日	尾張地域広域処分場確保連絡調整会議 (尾張・知多地域全市町村)
平成17年 4月25日	愛知県市長会

# 現在の公共関与の処分場

事業主体	所在地 面積 埋立容量	埋立期間 埋立廃棄物(対象地域)
(財)愛知臨海環境整備センター S63.8.1設立	知多市 56.0ha 491万m <sup>3</sup>	H4.3～H22.3(約18年間) 産廃(県内全域) 一廃(尾張、知多地域)
(財)衣浦港ポートアイランド環境事業センター H8.5.24設立	碧南市 12.8ha 98万m <sup>3</sup>	H11.2～H21.3(約10年間) (産廃はH20.3まで) 産廃(衣浦港周辺5市4町) 一廃(衣浦港周辺10市8町)
(財)豊田加茂環境整備公社 H1.1.31設立	豊田市 9.5ha 199万m <sup>3</sup>	H4.4～H36.3(約32年間) 産廃・一廃(豊田市、三好町)

# 県の広域処分場整備の 基本的な考え方

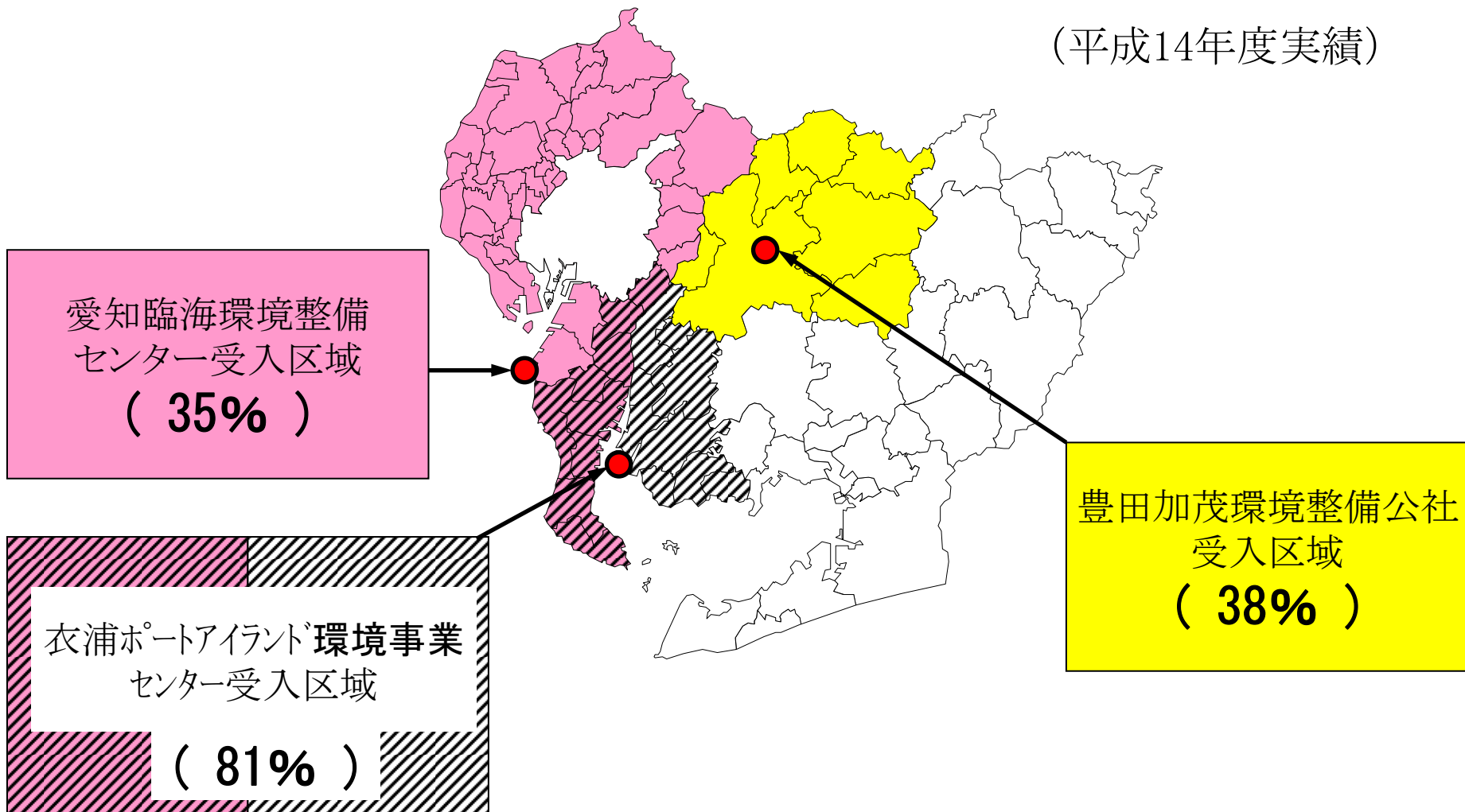
最終処分場のひっ迫に対応するため、愛知県廃棄物処理計画に「必要に応じて、第三セクター方式により、広域的な最終処分場の整備に公共関与を行う」としています。

## 衣浦港 3号地は、

必要な埋立容量が確保できること、廃棄物が多く発生する尾張地域にありアクセス面からも利便性があるなど、広域最終処分場として相応しいことから、候補地として選定しました。

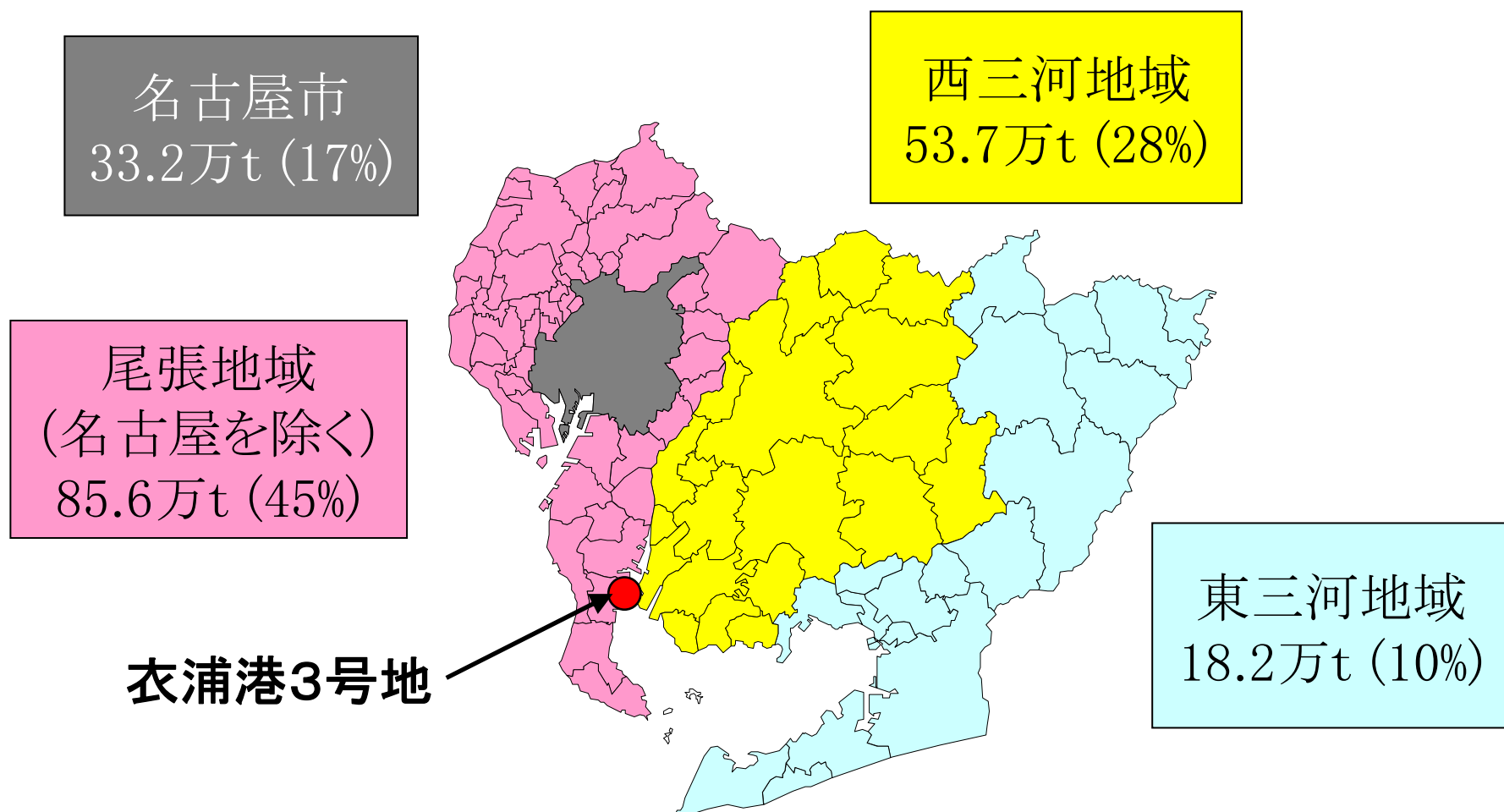
# 公共関与処分場の 一般廃棄物の受入割合

(平成14年度実績)



# 最終処分された産業廃棄物の地区別排出量

(H11年度の地区別の量で、( )内はその割合)



# 衣浦港3号地の廃棄物処分場の概要

所在地	武豊町大字東大高地先（衣浦港3号地）
面積	約47ヘクタール
廃棄物埋立容量	約500万立方メートル
埋立廃棄物の種類	産業廃棄物：ガラスくず陶磁器くず、コンクリートガラ、汚泥（有機性汚泥を除く）、鉍さい、ダスト、燃え殻など 一般廃棄物：焼却残渣など
排水処理施設	法に定める排水基準よりさらに厳しい自主管理基準を定め、それを達成できるだけの排水処理施設を整備
跡地利用計画	工業用地（一部都市再開発用地）

# 位置図

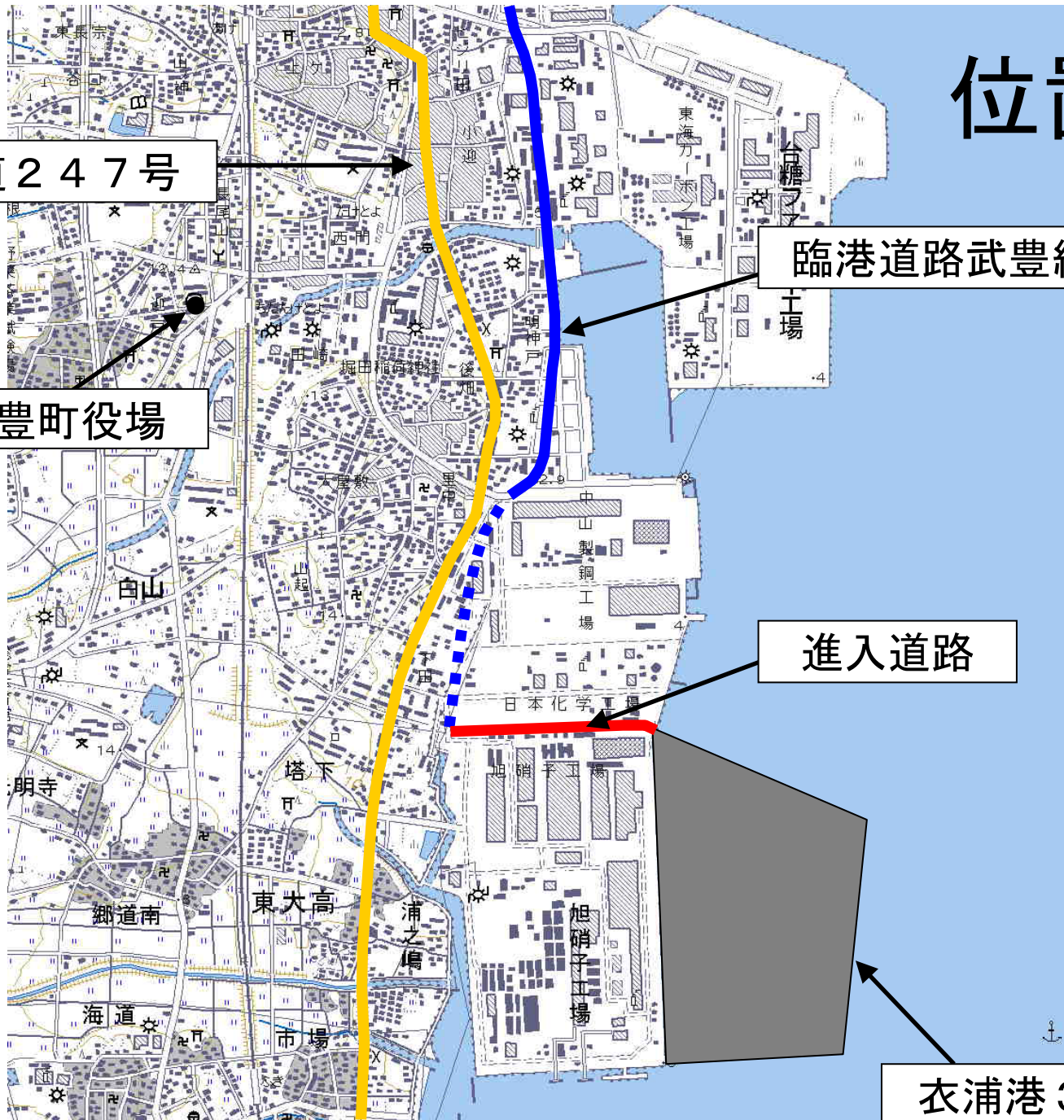
国道247号

臨港道路武豊線

武豊町役場

進入道路

衣浦港3号地



# 尾張地域や 三河地域からの 廃棄物の搬入 計画



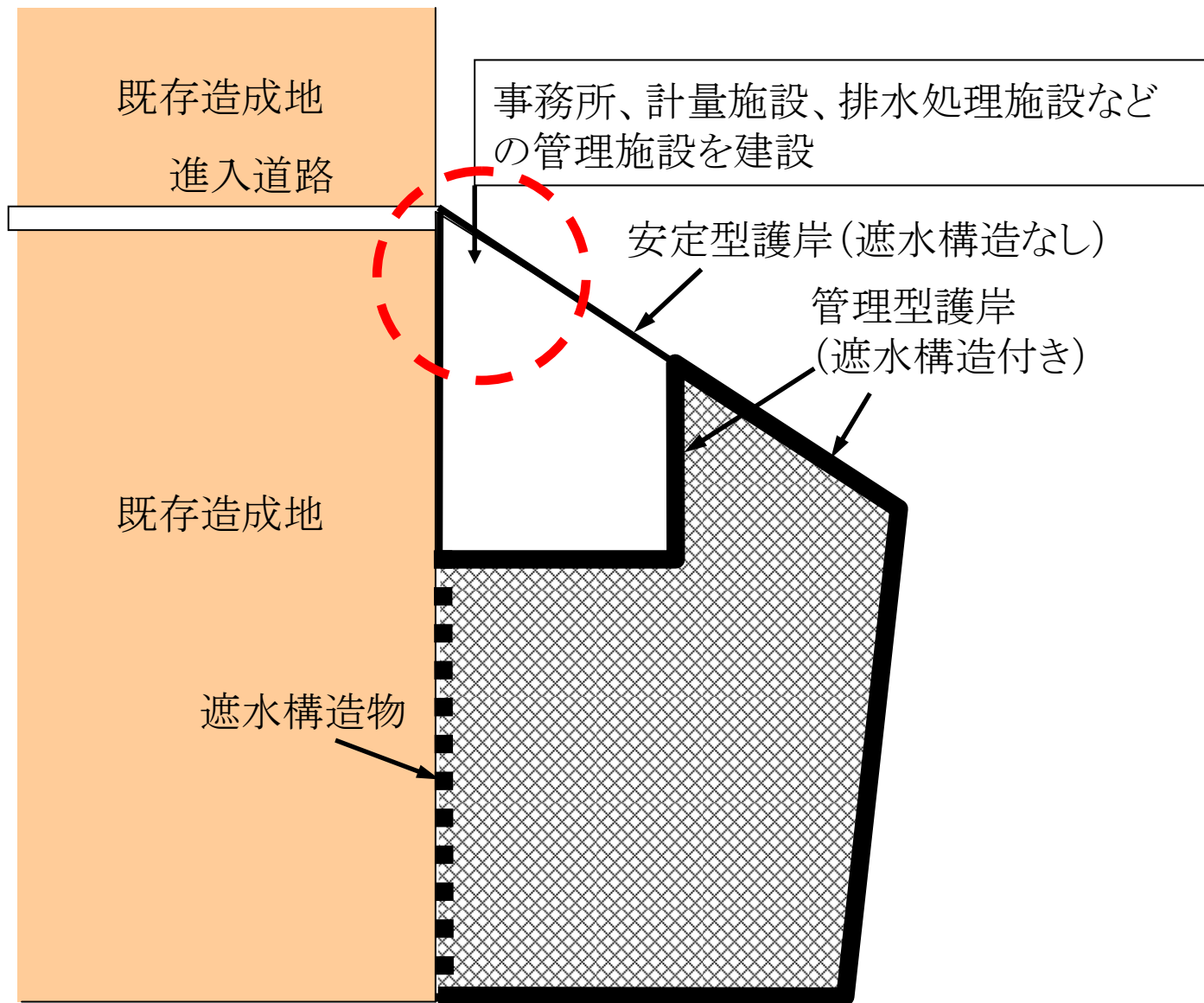
半田IC

衣浦大橋

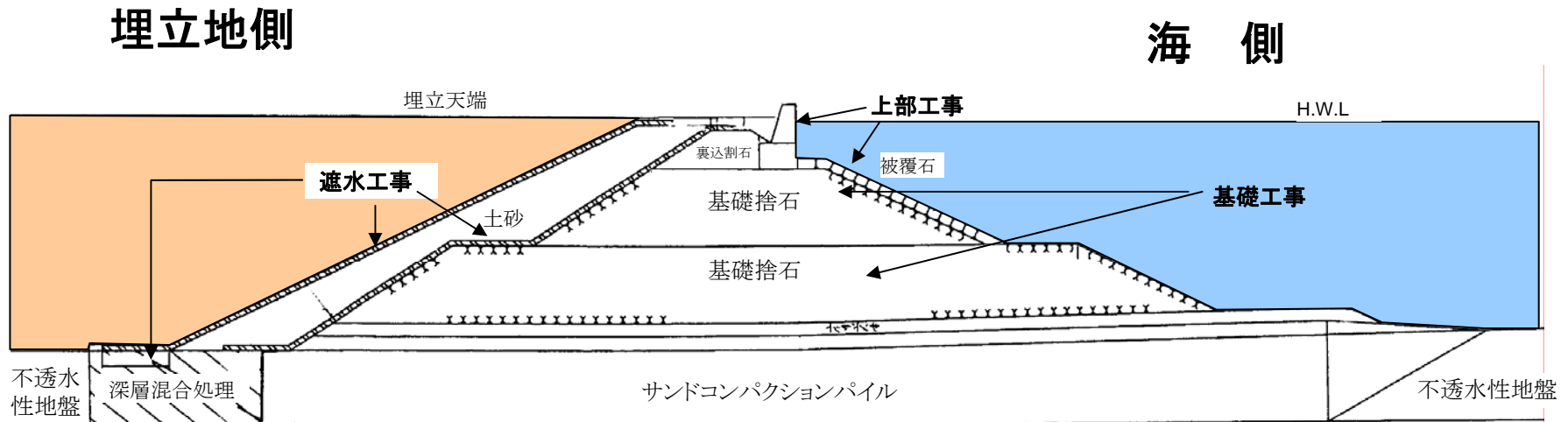
衣浦海底  
トンネル

衣浦港

# 安定型と管理型の最終処分場を整備

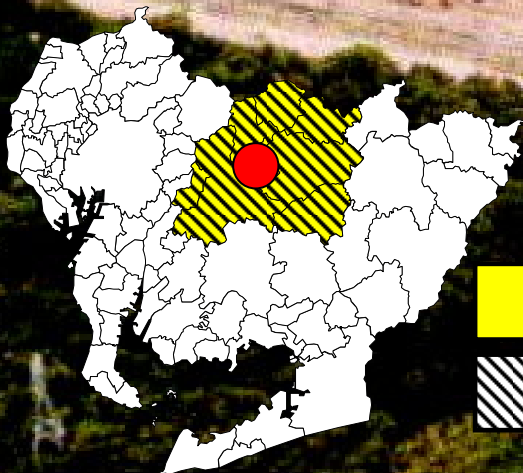




# 標準的な護岸のイメージ図



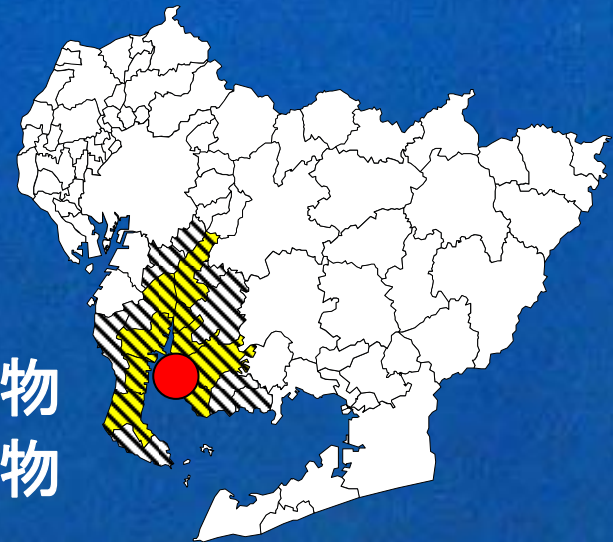
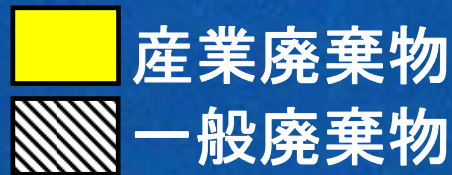
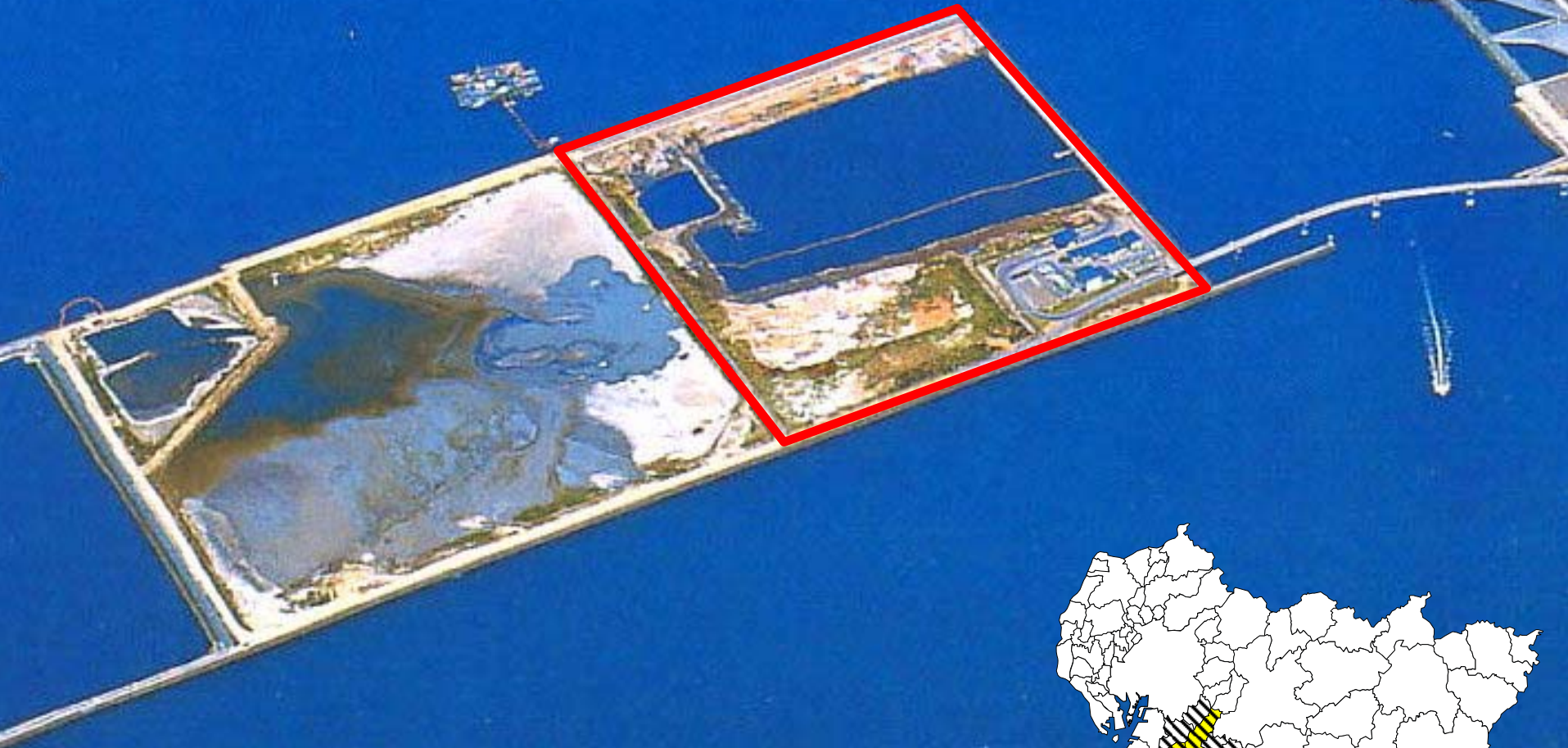


# (財)豊田加茂環境整備公社

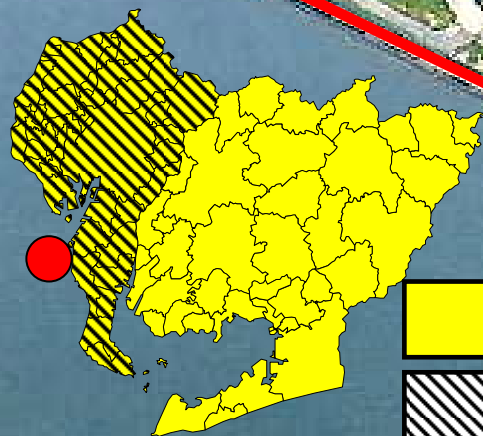


-  産業廃棄物
-  一般廃棄物

# (財)衣浦港ポートアイランド環境事業センター



# (財)愛知臨海環境整備センター



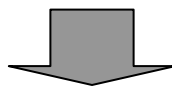
産業廃棄物

一般廃棄物

# アセックの廃棄物処理の流れと管理

アセックでは各段階で適正な管理を行っています

廃棄物の受入契約を結ぶ前の段階



廃棄物を受け入れる段階

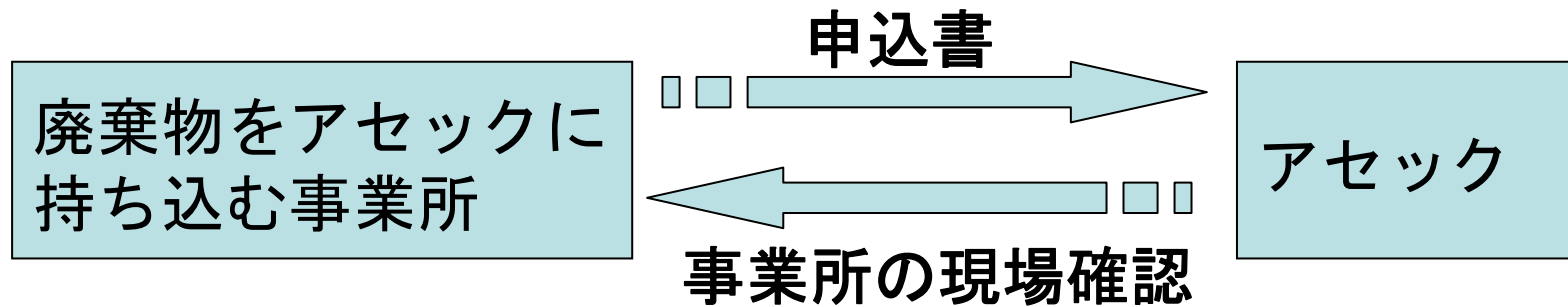


廃棄物を埋立する段階



廃棄物埋立処分場の維持管理をする段階

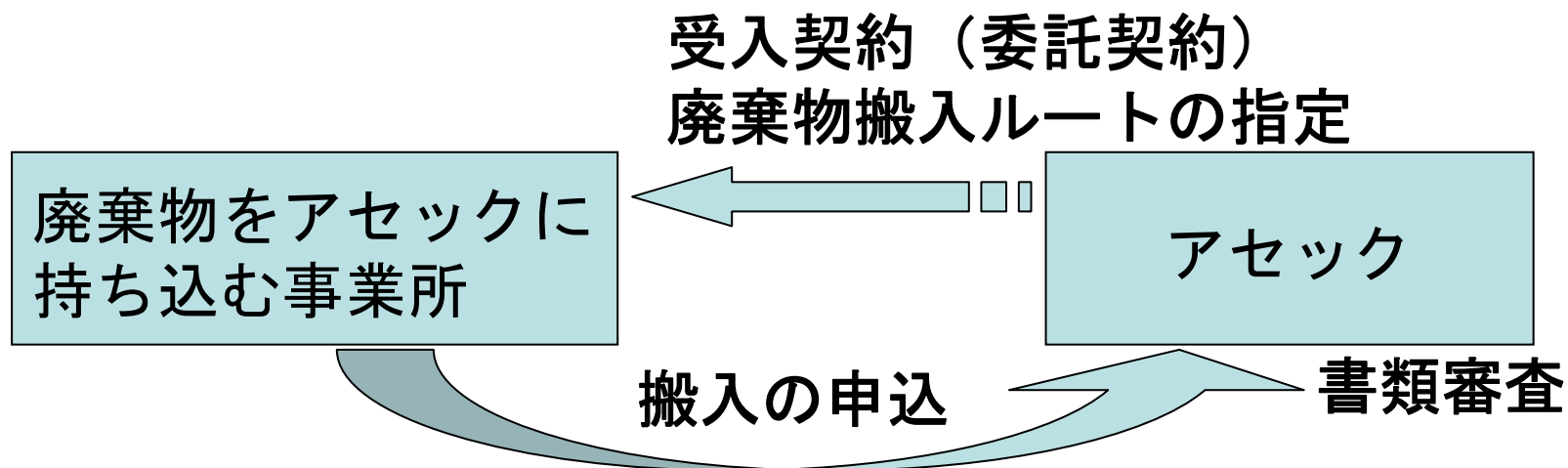
# 廃棄物の受入契約を結ぶ前の段階



事業所に行き、廃棄物の発生状況や性状を確認

必要に応じ、検査試料を採取して検査機関で分析

# 現地調査の後に契約を結びます



搬入する廃棄物の種類  
搬入する予定量  
搬入車両の一覧表  
廃棄物の性状表  
廃棄物の分析証明書（有害物質が基準以上に  
溶け出さない廃棄物であることを確認する）  
その他必要書類

# 廃棄物を受け入れる段階

計量施設で重量を測ります

必要書類の確認を行ないます



マニフェスト等の確認



# 廃棄物を受け入れる段階

廃棄物を目視等で確認します。



有害物質が溶け出すか  
簡易検査で確認

# 廃棄物を埋立する段階



構内道路を通過して、案内板に従って指定された場所へ。  
場内道路は粉じん発生防止のため10km/Hに速度規制



汚泥等の廃棄物は水中に投入して埋立



# 廃棄物を埋立する段階

廃プラスチック類は水中へ投入せず、場所を決めて埋立



投入した廃棄物を整地して次の投入に備える



場内の埋め立て状況

# 廃棄物を埋立する段階



場内の散水車



場内のパトロール



# 廃棄物を 埋立する段階

場外に出る前にタイヤに付  
着した廃棄物を洗い落とす



# 処分場の維持管理をする段階

処分場の内水をきれいに保つ工夫

水流発生装置

トレンチ（せせらぎ水路）



# 処分場の維持管理をする段階

棧橋の先端から内水を取水し、トレンチを流した後、内水に戻す

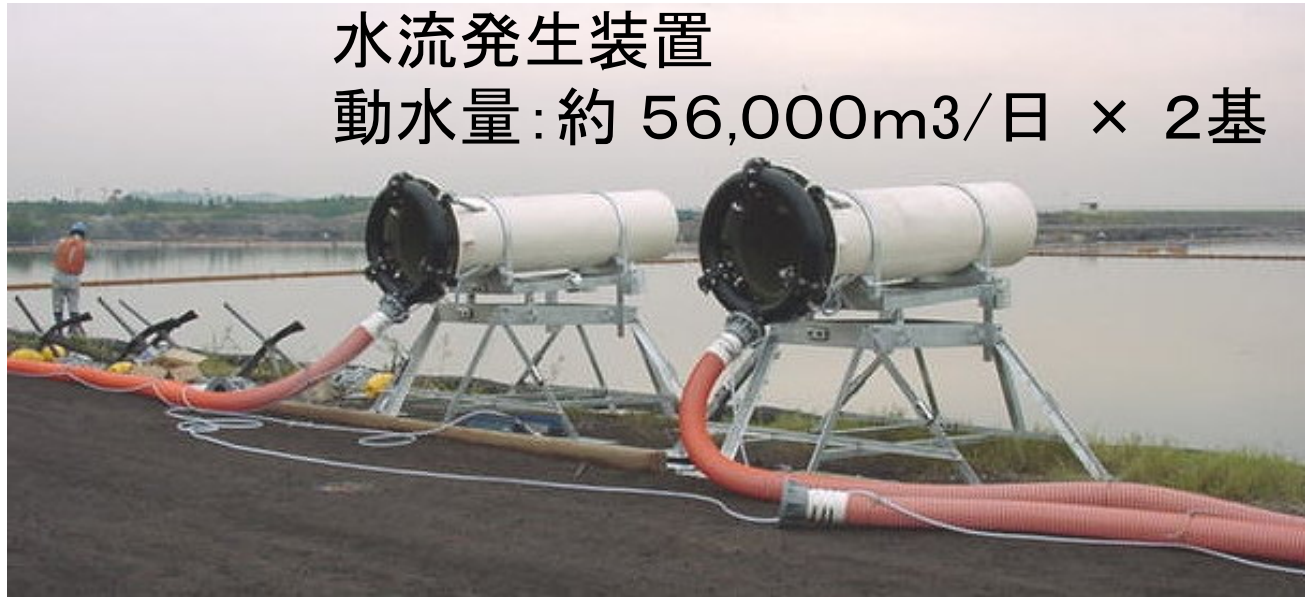


トレンチ(せせらぎ水路)  
幅:約 2mと約6m  
長さ:約 550m 2系列

# 処分場の維持管理をする段階

水流発生装置

動水量: 約 56,000m<sup>3</sup>/日 × 2基



水流発生装置の  
水中部分



水流発生装置の地上部分



# 処分場の維持管理をする段階



排水処理装置

生物処理  
施設

凝集  
沈殿  
施設

生物  
処理槽

# 処分場の維持管理をする段階

## 排水処理装置

砂ろ過塔

活性炭吸着塔



# 開かれた最終処分場



最終処分場内の見学風景

処分場の近隣地区の住民の方々を対象に開催した、アセツクの事業説明会の様子

